

豪雪時における適切な道路管理のためのソフト面での対応策

- ・冬期道路情報連絡室を設置し、関係機関との連携と情報共有を強化
- ・雪道走行の準備のない車両のスタック発生防止やタイヤチェーン装備啓発のためタイヤチェックを実施
- ・冬期道路通行時の装備についての広報活動の強化

●関係機関の連携と情報共有

福井県道路情報連絡室の開設

- ・福井河川国道事務所、福井県土木部、福井県警、中日本高速道路(株)、福井地方气象台で構成
- ・福井河川国道事務所内に連絡室を開設し、道路情報を一元的に集約のうえ毎正時に発表
- ・要員は大雪警報の発表と同時に自動的に参集を行う(H24年度は6回開設)

H23年度より福井県道路情報連絡室に气象台が参画、リアルタイムの気象情報を把握

H24年度より西日本高速道路(株)も参画



情報連絡室の開設の効果

- ・事前に気象情報を把握することで早期対策がとれる
- ・関係機関が一同に介するため、道路情報を共有し、各機関の対応に反映
- ・毎正時にマスコミへ各道路管理者の道路情報を一元化して提供

●ノーマルタイヤ装備車のチェック



- ・警察と連携し、ノーマルタイヤチェックを実施 (平成24年度は2回実施。検問台数73台)

ノーマルタイヤチェックの実施

- ・通行障害の発端はノーマルタイヤの大型車に関連するものが大半を占めるため、大雪時にチェックをおこなう。

ノーマルタイヤチェックの効果

- ・通行障害の未然の防止
- ・道路利用者の意識の変化の促進。

●広報活動の強化

啓発リーフレット
(H24年度雪みち情報マップ)

新聞広告

広報活動の強化

- ・トラック協会への冬期装備に関する要請の実施
- ・関西中京圏に対する啓発リーフレットの配布
- ・新聞広告により冬期道路通行時の冬装備についてPR

広報活動の効果

- ・関西中京圏などの非積雪地域からの道路利用者に対する啓発促進
- ・道路利用者の意識の変化の促進